

次号予告

特集：学会60周年記念SSOR

東北支部のSSOR	中山 明 (福島大学)
本部SSOR 2018開催報告	成島康史 (横浜国立大学), 田中未来 (統計数理研究所), Phung-Duc Tuan・伊豆永洋一 (筑波大学), 鶴飼孝盛 (防衛大学校), 奥野貴之 (理化学研究所), 黒沢 健 (東京理科大学), 田中健一 (慶應義塾大学)
SSOR現在・過去・未来	金子美博 (岐阜大学)
関西支部SSORルポー支部SSORを開催して感じたこと	檀 寛成 (関西大学)
中国・四国地区SSOR	岡村寛之 (広島大学)
九州地区におけるOR若手研究交流会：2016～2018	川崎英文 (九州大学)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●「データ解析コンペティション」と聞いて、私は真っ先にKaggleのことを思い浮かべたが、少し考えて、Kaggleとデータ解析コンペティションは全く異なるコンペティションであることに思い至った。Kaggleは問題設定と評価方法、すなわち、何を解析するか、および解析手法のよさを測る指標が与えられたうえでのコンペティションである。一方、データ解析コンペティションは、むしろどれだけ実務的に価値があるような問題設定と評価方法を考えられるかを競うコンペティションであり、まさに実学を重んじる当学会にぴったりのコンペティションだと気づいた。

●私もデータサイエンティストとして仕事をすることもあるので、有意義な問題設定を考えることの難しさ

は身に染みてわかる。幅広い技術の引き出しを持たず、お客様の業務に関する無知を意識していない駆け出しの頃に、お客様にとっての価値を顧みずに自身が得意な技術で解ける問題設定に無理に持ち込もうとして先輩に咎められた、というような経験はデータサイエンティストなら誰しも持っているのではないだろうか？

●今回の特集を読むにあたって、データサイエンティストの視点に立って執筆者たちの苦勞を偲ぶのも一興(?)とは思ったけれど、なるべく、解析結果を利用するお客様(ヘアサロンチェーンの経営者)の視点に立って、各解析結果をどう実務に活かそうかと思いを巡らせながら、楽しく読ませていただいた。

(井床利生)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	猿渡 康文 (筑波大学)
特集担当編集委員	生田目 崇 (中央大学)
委員	朝日 弓未 (東海大学), 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国土交通省国土技術政策総合研究所), 伊豆永 洋一 (筑波大学), 井床 利生 (IBM基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 繁野 麻衣子 (筑波大学), 高野 祐一 (筑波大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成31年2月号 第64巻 第2号 通巻698号

代表者 齊藤 裕

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。